

### Ⅲ 研究部のあゆみ

#### 1 研究主題

運動の楽しさや喜びを味わうための基礎的・基本的な資質や能力を育成する体育学習  
～主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善～

#### 2 研究の構想

体育科における課題
<ul style="list-style-type: none"><li>・ 習得した知識及び技能を活用して課題解決することができない。</li><li>・ 学習したことを相手に分かりやすく伝えることができない。</li><li>・ 運動する子どもとそうでない子どもの二極化傾向。</li><li>・ 子どもの体力低下傾向に歯止めが掛かったものの、依然として低い。</li></ul>

新学習指導要領（平成 29 年 3 月 公示） 体育科の目標
--------------------------------

体育科において育成を目指す資質・能力
<ul style="list-style-type: none"><li>○ 各種の運動が有する特性や魅力に応じた知識や技能を身に付ける。 【知識・技能】</li><li>○ 自己の能力に適した課題をもち、活動を選んだり工夫したりする思考力・判断力・表現力等 【思考力・判断力・表現力等】</li><li>○ 運動の楽しさや喜びを味わい、明るく楽しい生活を営むための態度 【学びに向かう力・人間性等】</li></ul>

研究仮説
体づくり運動の学習を通して、主体的・対話的で深い学びの在り方を明確化し、授業改善の工夫を進めていけば、運動の楽しさや喜びを味わい、生涯にわたって健康の保持増進や体力向上に取り組む児童が育つであろう。

目指す児童像
体力の向上について、心身ともに成長の著しい小学校時期を踏まえ、「体づくり運動」の学習を通して、体を動かす楽しさや心地よさを味わい、様々な基本的な体の動きを身に付けるようにするとともに、健康や体力の状況に応じて体力を高める必要性を認識できるようにする。

研究内容
<p>1 主体的・対話的で深い学びの在り方を明確化</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 運動の楽しさや健康の意義等に気付き、運動や健康についての興味や関心を高め、課題の解決に向けて自ら粘り強く取り組み、考察するとともに学習を振り返り、課題を修正したり新たな課題を設定したりするなどの主体的な学びを促す。</li><li>○ 運動や健康についての課題の解決に向けて、児童が他者（書物等を含む）との対話を通して、自己の思考を広げたり深めたりするなどの対話的な学びを促す。</li><li>○ それらの学びの過程を通して、自己の運動や健康についての課題を見付け、解決に向けて試行錯誤を重ねながら、思考を深め、よりよく解決するなどの深い学びを促す。</li></ul> <p>2 授業改善の工夫</p> <ul style="list-style-type: none"><li>○ 運動の特性や魅力を大切にしたりカリキュラムづくりや教材の開発</li><li>○ ICT等や学習カードを活用した自己の課題を振り返る手立ての工夫</li><li>○ 関わりを豊かにし、思考を深める一層の言語活動の充実</li></ul> <p>例</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・ 主体的に学習を見通し、振り返る場面をどこに設定するか</li><li>・ グループなどで対話する場面をどこに設定するか</li><li>・ 学びの深まりを作り出すために子どもが考える場面と教師が教える場面をどのように組み立てるか</li></ul>

### 3 研究の実際

#### (1) 体育科における「主体的・対話的で深い学び」の在り方

「主体的・対話的で深い学び」を実現する子どもの姿を次のように整理した。

- |                      |               |             |
|----------------------|---------------|-------------|
| ① 「主体的な学び」を実現する子どもの姿 |               |             |
| ・ 興味・関心を高める          | ・ 見通しをもつ      |             |
| ・ 自分と結び付ける           | ・ 振り返って自覚する   |             |
| ② 「対話的な学びを実現する子どもの姿  |               |             |
| ・ 多様な情報を収集する         | ・ 多様な手段で表現する  |             |
| ・ 共に課題を解決する          | ・ 共に考えを創り上げる  |             |
| ③ 「深い学び」を実現する子どもの姿   |               |             |
| ・ 課題を発見する            | ・ 解決の方向性を見いだす | ・ 思考し解決に向かう |
| ・ 知識を活用する            | ・ 知識を習得する     | ・ 知識を構造化する  |

#### (2) 研究授業

南那珂地区小中学校教科等研究会体育・保体部会の研究授業として、「体づくり運動」(体力を高める運動)の授業実践を行い、研究仮説の検証を行った。

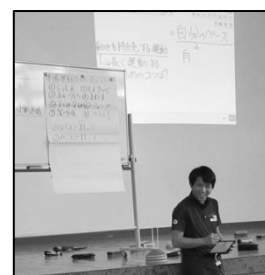
○ 平成29年12月4日(月) 日南市立吾田小学校 第6学年 前田 雅樹 教諭

○ 「体力を高める運動」の中でも「動きを持続する能力を高める運動」を充実させ、持久走大会に向けての運動とした。

「動きを持続する運動」を主に扱うが、反復練習にならないよう、動きのリズムを変える、多様な教具を用いる、競争性を取り入れる、試行錯誤を繰り返しながら判断する機会を与える等のねらいを取り入れた。

一方のチームはペットボトルを次々に倒し、もう一方のチームは立て直す「ペットボトル増やし」ゲームを行った。

I C T機器を利用し、ゲーム内容や動きを視覚的に正しく捉えたり、全体で児童の意見等を共有したりできるようにした。



### 4 研究の成果と課題

#### (1) 成果

○ 必要な学習環境を積極的に設定していくことで、児童の主体的・能動的な学習を展開することができた。

#### (2) 課題

○ 指導方法を工夫して、必要な知識及び動きの習得を図りながら、児童の思考を深めるために発言を促したり、気付いていない視点を提示したりするなど、学びに必要な指導の在り方を追究する必要がある。